

第 11 回 *itSMF* Japan Newsletter Contribution Award ★受賞者決定★

2017 年 10 月号・2018 年 1・4・7 月号の各号会報誌「Newsletter」に掲載いたしました寄稿のなかから、
厳正な審査の結果、次のように、受賞寄稿が決定しました。
ご寄稿いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。

最優秀賞

賞品：受賞者ご本人が、2018 年開催の *itSMF* USA Fusion18 あるいは、*itSMF* UK 2018 コンファ
レンスに参加するための交通費・宿泊費・コンファレンス参加費を、最大 50 万円まで負担します。
※報告レポートをご執筆いただき、*itSMF* Japan 会報誌「Newsletter」に掲載します。



■小澤 一友 氏 (2018.7 月号掲載)

ITIL® 型 SLA の隠れた罪と、企業デジタル化時代に戦略参加型 SLA の赦し
～根拠なんていつも後付けでしょ？大人ぶった予防線飛び越えて今 Bright wage ～

選評：従来の IT 部門とビジネス部門を対峙させた ITIL® 型 SLA から、ビジネスのア
ウトプット増を最終目的とする戦略参加型 SLA への変革により、よりビジネスに即応
できる IT 管理が可能となることを提案している。日本の主要企業による ITIL® の適
用法に関するこの分析は、ビジネス部門と IT 部門のあり方において、根本的な変革
を迫るものであり、日本企業の IT をフル活用したグローバルのビジネス展開におい
て極めて示唆に富んでいる。IT 部門、ビジネス部門をより統合、密接にし、変革速
度を上げるためには、戦略参加型 SLA の積極的な適用を提案し、また、ITIL® 型 SLA
と戦略参加型 SLA の使い分けの検討を、この筆者がさらに深めてくれることを期待し
ています。

優秀賞

【第 2 半期】テーマ部門（実践事例） 賞品：QUO カード（4 万円）



■伊藤 俊治 氏 (2018 年 7 月号掲載)

ITIL® を活用したアントレプレナーシップの実践
～エフェクチュエーションによる考察～

選評：サービスマネジメントを担当する子会社が、親会社を離れ、サービスマネジ
メントを事業として独立した場合に、どのようにサービス、事業を選定・展開するか
を丁寧に検討した新規性を伴った事例であり、高く評価できます。エフェクチュエ
ーション／コーゼーションとサービス、事業の選定、展開との結び付きのさらなる深掘
りを期待します。

【第 2 半期】フリー部門 賞品：QUO カード（2 万円）



■小澤 一友 氏 (2018.7 月号掲載)

ITIL® 型 SLA の隠れた罪と、企業デジタル化時代に戦略参加型 SLA の赦し
～根拠なんていつも後付けでしょ？大人ぶった予防線飛び越えて今 Bright wage ～

初寄稿賞

賞品：QUO カード（2 万円）

■長岡 聡子 氏 (2017.10 月号掲載)
itSMF Japan 第 62 回セミナー報告